

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

今年も始まりました。(悦)

例年、防寒具を着ての4月の観察会ですが、今年はスタート時は思ったより寒く感じましたが、一枚ずつ脱皮しながら、頂上に到着。満開の桜の下での班、桜を眺めながらの班の2班に分かれて、気持ちが良い昼食になりました。



初めて見た花 (桂)

クロモジとウリカエデの花を初めて見ました。どちらも雌雄異株だと知らず、来年はもっとよく観察したいな～



クロモジ



ウリカエデ

初めて見た花 (洋)

芽吹きや咲いている花、また、去年の落葉について等々、興味深いお話しでした。「うりかえで」の花は簪のような形が可愛しかった。ミドリヒメザゼンをあちこちで見ました。花の咲く頃には注意深く観察したいところ。1ヶ月ごと、その季節の葉っぱの様子、花や実、また、蝶々など。これからも観察会が楽しみです。



ミドリヒメザゼンソウ②83



ウバユリ①97

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266-75-1772

市民の森のいきものたち ロビー展:

市民の森は、沢山のいきものたちが生息する豊かな里山です。私たちは、この森で年間を通して色々な観察会、講習会を開催しています。その活動で撮り貯めた写真で、市民の森のいきものたち(植物、虫など)活動内容を紹介しします。

日時 5月9日(月)10時～5月20日(金)15時
場所 茅野市 市役所 1Fロビー



ウスタビガの繭 ②120 (矢)

観察会時によく見かけるウスタビガの繭。



いつも何気に見過ぎていましたが、よく見ると繭ばかりではなく、吊り下げる柄も葉柄に似せ、精緻に作られています。虫の仕事どれも見事です！



アブラチャン 雌花 ①66



クロモジ

4月観察した昆虫 (馬)

<昆虫>

- スジグロシロチョウの仲間②110
- ルリタテハ②112



- ヒオドシチョウ②112
- エルタテハ②112
- キタテハ②112
- ミドリシジミ卵の孵化後の脱殻
- スギタニルリシジミ②111
- ヒメツチハンミョウ
- <魚>
- アマゴ
- <両生類>
- アマガエル

4月観察した花 (悦)

✿ ダンコウバイ①66



- ✿ アブラチャン①66
- ✿ クロモジ
- ✿ ウリカエデ①68
- ✿ バッコヤナギ①126
- ✿ キブシ①67
- ✿ タネツケバナ
- ✿ フサザクラ①66
- ✿ ミヤマウグイスカグラ①67
- ✿ ツノハシバミ①67
- ✿ アケボノスミレ②70
- ✿ ハルニレ②99
- ✿ タチツボスミレ①77

金雲母 (與)

『土偶を読む』に縄文のヴィーナスが柄の実の精霊を具現化したものとの説が書かれていて、腑に落ちたものの唯一雲母のことが書かれていなかったことが不満で、かつてに雲母は実の表面の梨のような点々の表現だと解釈していました。

どうやって雲母を土偶の表面につけたのだろうと不思議に思っていたところ、黒と赤茶色の中、光る川底の説明と、この土で土偶がつくられたとの解説があり、近くにある柄の木を見て願いを叶えるための奇跡的な材料と創造力の出会いがあったことを現場で知れたことに感謝します。



川底で光る金雲母 e

もう少し勉強 (黒)

ウリカエデの花は今がわが世、とばかりに咲き誇っている。小さくきれいな黄色い花はなかなか可憐。ウリハダカエデの花まだ咲いていない。ウリカエデより遅く咲くのを初めて知る。



スミレの花も今が盛り。見分けられたのは、タチツボスミレ、アカネスミレ、アケボносミレの3種のみ。もう少し勉強しないと。



枝ぶりも個性がありますよ。 (悦)

葉のない今の時期、枝ぶりの違いの理由を考えてみよう。



ミズキ ①127



ヤマナラシ ①126



コブシ ①120



カラマツ GB①116

イガイガの正体は？ (三)

歩いていると ちょいちょい見かけるイガイガモフモフ状のこの子、、、なんだろう？



なぜが解けました！これはなんと虫こぶ！！ナラメイガタマバチが形成するそうで、中心部は木質で、1つの幼虫室があるそうです！ナラ類の芽に作られる虫こぶだそうです！すごいなー。

多様な世界 (直)

花の色・形、枝振りや葉芽など、生き方(?)がみんな違って、多様な世界を満喫しました。

オオムラサキの幼虫 (昭)

今年度最初の観察会。風が冷たく肌寒い中でしたが、小グループに分かれて出発し、昼前エゾエノキの所で、昨年から念願叶い、幹に取り付き、芽吹きを待つ、オオムラサキの幼虫を観察する事が出来、感動しました。



初体験 (益)

あっサロンパスの匂い、とミズメザクラの木に驚きました。松本民藝家具の主要材であることも初めて知り、池田三四郎さんのドラで早朝起こされた民藝の実習を懐かしく思い出しました。昆虫では(馬)さんが一時捕獲してくれたルリタテハ。羽ばたいた時に見えた瑠璃色の美しかったこと、こんなに近くで観たのは初めてでした。

ミミズのような長さにビックリ (SU)

「ヒル」という声に思わずゾワッとしました。名前を知ってはいたものの、実物は見たことがなかったです「ヒル」という声に思わずゾワッとしました。名前を知ってはいたものの、実物は見たことがなかったです。少し身構えながら観察しました。もっと短いナメクジ形と思っていたので、真っ黒ミミズのような長さにビックリ。しかも、頭がはっきりわかる！これがヒルか...初めまして。どこから現れたのかな？今までも、市民の森で出会っていたはずだったのかな？幅広く奥深い市民の森の「仲間たち」ですね。

今日の大木たち (悦)

- 第5位 カラマツ 胸高直径 69.0cm
- 第2位 クリ 胸高直径 79.3cm
- 第4位 ホオノキ 胸高直径 70.8cm
- 第3位 ウダイカンバ 胸高直径 78.3cm

市民の森の大木めぐり楽しそう(香)

こっちにも、あっちにも (口)

イボタノキがそこかしこに芽吹いていました。樹皮に白い虫が寄生して分泌した蠟は家具の艶出しなどに用いる。(牧野富太郎著



原色牧野植物大図鑑より抜粋) この虫の名はイボタロウ虫。「イボ太郎虫」と勘違いされ「イボタ、ロウ虫」であります。この名前の話題で盛り上がりました。今年はイボタロウ虫と蠟に出会えるかな。

ここにも、あそこにも (悦)

帰り道、脳みそのような形のキノコ、シャグマアミカサタケが、ここにも、あそこにも大発生。このキノコは、信州きのこの会編の図鑑に「下痢、おう吐、腹痛、筋肉のけいれんなどから溶血が起こり、肝機能障害、呼吸まひで死に至る」と書かれている毒キノコ。



茹でる時に出る水蒸気を吸っても、中毒が起きる！まさか、この気持ちの悪いキノコを食べようと思う素人はいないですね。

初観察！ (矢)

(苦手な人は片目をつぶって見てください)



ハンマーヘッド状の頭部とヌメヌメ黒光りする胴体で這っていた。これは「クロイロコウガイビル」という雌雄同体の扁形動物の一種で名にヒルがつくが、ミミズやカタツムリを食す肉食で、吸血はしない。切断しても再生するとか。まだまだ初お目見えの動植物に出会える市民の森、広いな～。